



《経営管理》 患者構成の指標

項目解説

各病院の患者構成を視点とし、治療の難しい症例(診断群分類点数表の入院期間Ⅱが長い)をより多く診療していることを評価します。

DPC/PDPSの入院期間Ⅱは全国平均の在院日数+1日ですが、入院期間Ⅱが長いほど退院までに日数を要し、一般的には治療の難しい症例であると考えられます。一例としては、脳腫瘍や頭頸部腫瘍の化学療法、出生体重1,500g以下の新生児等で入院期間が長くなります。

この数値は1.0が全国平均であり、1.0よりも大きい方がより困難な症例を治療していることとなります。

当院の実績

平成21年度	0.92	
平成22年度	0.87	
平成23年度	0.86	
平成24年度	0.85	
平成25年度	0.85	
平成26年度	0.84	
平成27年度	0.78	
平成28年度	未公開	※平成29年 7月現在

当院の自己点検評価

当院は斜網地区の基幹病院として、日々診療を行っています。今後も引き続き、求められる役割を果たすことで、この地域の医療を守っていきます。

定義

厚生労働省DPC評価分科会の公開データ

算式
